

新 旧 対 照 表

新	旧
<p style="text-align: center;">地域活性化総合特別区域計画</p> <p>作成主体の名称 略</p> <p>1 略</p> <p>2 略</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>別紙 2 - 3 < 課題解決型医療機器等開発事業 > <u>【 1 / 2 】</u></p> <p>1 略</p> <p>2 略</p> <p>別紙 2 - 3 < 課題解決型医療機器等開発事業 > <u>【 2 / 2 】</u></p> <p>1 <u>一般地域活性化事業の名称</u> <u>医療機器産業参入促進事業（課題解決型医療機器等開発事業）</u></p> <p>2 <u>一般地域活性化事業の内容</u> <u>事業概要</u> <u>70歳以上の高齢者人口が今後10年間で、約650万人増加すると</u></p>	<p style="text-align: center;">地域活性化総合特別区域計画</p> <p>作成主体の名称 略</p> <p>1 略</p> <p>2 略</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>別紙 2 - 3 < 課題解決型医療機器等開発事業 ></p> <p>1 略</p> <p>2 略</p>

見込まれ、さらに、厚生労働省が在宅医療促進政策を行っていることもあり、在宅で、慢性疾患患者から寝たきり患者といったように、幅広い患者への対応が余儀なくされるため、小型・軽量で様々な疾患に対応できる機能を有する在宅用の人工呼吸器が必要となっている。

また、現在、人工呼吸器は98%が輸入品という状況であることから、医療関係者においては日本の医療環境に即した製品を待ち望む声が多い。

そこで、本研究では、小型・軽量化に必要となるブローア・バルブの小型化、各患者の呼吸パターンにあったアルゴリズムの開発を行い、在宅用人工呼吸器を開発する。

支援措置の内容

医療機器の研究開発

事業実施主体

地域協議会にて事業実施取りまとめ機関を指定。

当該機関において、個別具体的な研究開発を実施する事業者等の公募を行い、外部有識者の評価を踏まえて選定。

事業が行われる区域

大分県の全域

事業の実施期間

平成24年度～

その他

なし

別紙 2 - 4 略

別添 6 地域協議会の協議の概要

地域協議会の名称	東九州メディカルバレー構想推進会議
地域協議会の設置日	平成 23 年 3 月 22 日
地域協議会の構成員	略
協議を行った日	(第 1 回) 略 (第 2 回) 略 (第 3 回) 略 (第 4 回) 略 (第 5 回) 略 (第 6 回) 略 (第 7 回) 略 (第 8 回) 略 (第 9 回) 略 (第 10 回) 略 (第 11 回) 平成 25 年 3 月 14 日 総合特区計画の変更について持ち回りで意見聴取
協議会の意見の概要	略
意見に対する対応	略

別紙 2 - 8 略

別紙 2 - 4 略

別添 6 地域協議会の協議の概要

地域協議会の名称	東九州メディカルバレー構想推進会議
地域協議会の設置日	平成 23 年 3 月 22 日
地域協議会の構成員	略
協議を行った日	(第 1 回) 略 (第 2 回) 略 (第 3 回) 略 (第 4 回) 略 (第 5 回) 略 (第 6 回) 略 (第 7 回) 略 (第 8 回) 略 (第 9 回) 略 (第 10 回) 略
協議会の意見の概要	略
意見に対する対応	略

別紙 2 - 8 略